

広まちづくり計画 (第2期)

若い力と伝統の融合,
文化・スポーツの盛んな
広まちをめざして！





はじめに

平成 21 年 3 月に、広住民が一からまちを見直し、このまちにあった振興計画をつくり上げることを目標とし、10 年後の広まちのあるべき姿を思い描きながら、「広まちづくり計画」を策定しました。そして、平成 21 年度から 30 年度にかけて、広地区教育祭や広子ども祭など広まちの伝統と特長を生かした事業を展開し、まちづくりを推進してきましたが、平成 30 年度で計画実施期間を終えたことから、新たに「若い力と伝統の融合、文化・スポーツの盛んな広まちをめざして！」をスローガンに掲げた「広まちづくり計画（第 2 期）」を策定いたしました。伝統文化を継承し、時代に沿った新しい思考・発想を取り入れていく方針は、そのまま引き継いだものとなっております。

策定にあたり、呉商業高等学校、広高等学校、呉港高等学校、広島国際大学の生徒・学生を中心に広在住の大学生、広商店街振興組合のメンバー、広で起業し活躍している方々を加え、広まちをつくりあげていくための工場という意味で、若い世代がかかわり魅力ある広まちをデザインする「ひろまち design factory（デザイン・ファクトリー）」（若者ワークショップ）と名付けたワークショップを 4 回開催し、計画に反映していくため、広まちの魅力を再確認し、可能性について意見交換を行いました。

この「ひろまち design factory（デザイン・ファクトリー）」（若者ワークショップ）は、引き続き「広まちづくり計画（第 2 期）」において、企画、情報発信の基幹に位置づけ、活動していきたいと思っておりますので、各学校関係役員の皆様におかれましては、引き続きご協力とご支援をお願いいたします。

この広まちは、高齢化社会にあつてなお、若者が多く居住し住みたいと思うまちであり、若いみなさんがまちづくりに少しでも関わっていただくことで、新しい魅力を引き出し、まちの伝統文化を継承できるものと思っております。若い皆さんが参加しやすい状況をつくりながら、住民一体となってまちづくりを進めて参ります。

終わりにになりましたが、この計画策定にあたりご協力いただきました地域の皆様、学校関係者の皆様、貴重なご意見、ご提案をいただいた関係者の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

令和 2 年 3 月

広まちづくり推進協議会 会長 吉井光廣

目次

I	計画策定にあたって	1
1.	計画策定の趣旨	1
2.	計画の位置付け	2
3.	ゆめづくり地域協働プログラムの概要	2
4.	策定にあたって重視した点	3
II	地域を取り巻く現状	4
1.	地域の概要	4
2.	地域の現状	5
III	計画の基本的方向	7
1.	計画の目的	7
2.	計画の対象	7
3.	計画の期間	7
4.	計画の体系	8
IV	基本計画（令和2年度～令和10年度）	9
1.	基本目標	9
2.	地域を支える基本事業	15
V	事業計画（令和2年度～令和10年度）	17
	資料編	23
1.	ひろまち design factory 経過	23
2.	ひろまち design factory 名簿	27
3.	広まちづくり推進協議会規約	28

I 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

呉市では、地区自治会連合会エリア（呉市内の 28 地域）単位で組織されたまちづくり委員会（協議会）が設置され、地域内で活動する様々な団体間の協働・連携を図る役割を担っています。

まちづくり委員会（協議会）は、地域包括型の住民自治組織であり、地区自治会連合会や地域内の各種団体、NPO、ボランティア団体などによって構成されています。

そして、まちづくり委員会（協議会）の取り組みをはじめ、ゆめづくり地域協働プログラムに基づいて進める市内各地域の取り組みにより、呉市全域で、地域住民が主体となり身近な課題の対応などに積極的に関わり、いきいきとした地域社会の構築を目指しています。

そのような中、広地区では広まちづくり推進協議会を設置し、「人と文化の多様性で未来へつなぐ」をまちづくりスローガンに掲げ、平成 30 年度にかけて「広まちづくり計画～マープル・プロジェクト～」(平成 20 年度策定)を推進してきました。

計画実施期間の最終年度にあたる平成 30 年度に、「若い力と伝統の融合、文化・スポーツの盛んな広まちをめざして！」をスローガンに掲げ、新たなまちづくりを推進すべく計画策定の準備を進めておりましたが、平成 30 年 7 月の西日本豪雨災害により、呉市は、人や家屋、道路等に大きな被害を受け、災害復旧・復興を第一としたことから、計画の策定作業も中断していました。

この間、呉市の各地で復旧・復興に向けた様々な対策や取り組みが行われてきましたが、改めて、地域内でのつながりや住民が一体となった活動の必要性が強く認識されたところです。広地区においてもこの災害からの復旧・復興に努め、未来に向けてこれまで以上に魅力ある地域をつくり、守っていくことを念頭に、これからの広まちづくり計画を策定するものです。

なお、平成 20 年度策定の広まちづくり計画は第 1 期の計画とし、新計画は「広まちづくり計画（第 2 期）」（以下「本計画」という。）とします。

2. 計画の位置付け

本計画は、

- ・呉市が策定する「第4次呉市市民協働推進基本計画」に包括される、ゆめづくり地域協働プログラムに規定される「地域まちづくり計画」として位置付けられるものです。
- ・呉市の最上位計画である「第4次呉市長期総合計画」（平成28～令和2年度）、「呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョン 令和元年度改訂版」、「呉市都市計画マスタープラン」（平成29年3月改訂）、「呉市復興計画」をはじめ、呉市が策定する各種計画と整合を図って策定するものです。

3. ゆめづくり地域協働プログラムの概要

ゆめづくり地域協働プログラムとは、特色ある地域資源を最大限に活用した「自主的で自立した地域活動」を再構築し、地域を包括する住民自治組織（まちづくり委員会など）との協働による「地域協働」のまちづくりを推進する呉市の施策です。

プログラムの推進にあたっては、次の2つの施策目標を掲げて取り組んでいます。

①コミュニティの自立経営（地域力の向上）

地域住民が誇りを持って安心して暮らせる地域とするため、地域自らが自立した存在として、力を高める必要があります。この地域力の向上を目指します。

②小さな市役所の実現（協働型自治体への移行）

地域住民が公共的サービスの担い手として、自主的に活動するような地域社会の構築を目指します。

ゆめづくり地域協働プログラムでは、5つの施策の下に14の事業が設置されています。広地区においては、住民自治を促進する基本ルールの整備として、広まちづくり計画を策定しているほか、「ゆめづくり地域交付金（地域予算制度）」を活用して、広子ども祭、広地区教育祭、広地区クリーン活動などへの財政支援を行っています。

4. 策定にあたって重視した点

本計画を策定するにあたっては、より地域の現状に即すとともに実効性を高めるため、以下の2点を重視しました。

- ①過去 10 年間の取り組みや今後の指針、近年の社会情勢の変化を踏まえる。
- ②若者を中心に、地域の方の声を取り入れる。

そこで、策定にあたっては、広地区に在住・在学の若者を中心に意見出しを行う「ひろまち design factory（若者ワークショップ）」を実施しました。

ひろまち design factory

若者ワークショップ

第1回 「広」の魅力と課題の再発見！
まちづくりの事例勉強／商店街を歩いてみよう／
「広」にあるスキルを書き出そう

第2回 アイデアを磨いて想いを高める！
「広」のスキルとアイデアの共有／
「想い」を共有しつつ実践に向けてセレクト

第3回 いよいよ実践の準備！
アイデアからプロジェクトへ落とし込み／
全体発表プレゼンテーション／今後に向けて

第4回 情報誌作成に向けて！
前回の振り返り／
情報誌制作にあたっての企画会議



Ⅱ 地域を取り巻く現状

1. 地域の概要

広地区は、東広島・呉自動車道および国道 375 号、JR 広駅や新広駅を擁する、呉市の東部を支える地域です。また、山と海の両方を資源として有する自然豊かな地域でもあります。

呉市の「呉市都市計画マスタープラン」（平成 29 年 3 月改訂）の全体構想においては、広地域は、呉市の中でも都心である中央地域の機能を補完する副都心として位置付けられており、JR 広駅や新広駅周辺、広交差点周辺等の一体的なエリアにおいて市のにぎわいの顔となる地域です。これまでの土地区画整理事業などの推進により副都心としてのまちづくりは着実に進んでおり、多様な機能が集積した利便性の高い土地としての性格を強めてきました。さらに、沿岸部の産業集積地においては、ものづくり産業の維持と強化を図り、産業発展をけん引していく地域であるとともに、隣接する東広島市との連携を強化する地域としても位置付けられています。

地域の歴史をたどると、「広」の起こりは、明治 4 年の廃藩置県により広島県賀茂郡広村となったことに遡ります。以後、「教育第一」を村是に掲げ、教育振興を中心的目標に据えてまちづくりを行ってきました。広村は第 2 次世界大戦中の昭和 16 年に合併により呉市の一部となってからは、平成の時代にかけて呉市が合併を繰り返しながら発展をしていく中であって、歴史ある地域として発展してきました。「呉市市民意識調査」（平成 26 年度）の結果を見ると、住みよさについては「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計が 7 割を超え、呉市全体と比べても高くなっています。

2. 地域の現状

呉市全体では昭和 55 年をピークに人口は減少を続けていますが、広地区においては、人口、世帯数は、平成 20 年 3 月末時点と比較すると、それぞれ 1,041 人、2,078 世帯いずれも増加しています。この要因の 1 つとして、古新開土地区画整理事業やマンション建設等によって、若年層を中心に居住が進み、人口の流入が起こったことがあります。地域一丸となりまちづくりを進めていた頃の住民自治は、近年では新規住民の流入や、社会構造や生活スタイルの変化などにより、以前の形のまま維持することが難しい現状もあります。

●世帯数及び人口（平成 31 年）

人口			世帯数
合計	男性	女性	
46,695 人	22,886 人	23,809 人	21,446 世帯

（平成 31 年 3 月 31 日現在，住民基本台帳）

※参考：人口合計 45,654 人，世帯数 19,368 世帯

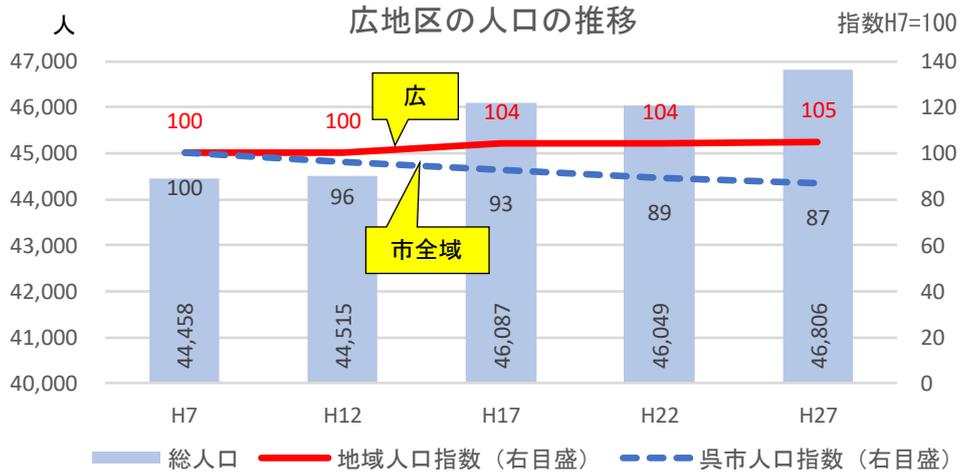
（平成 20 年 3 月 31 日現在，住民基本台帳）

広地区の人口の年齢別構成を見ると、高齢化率は平成 31 年 3 月末には 24.9%となっており、呉市全体と比較すると高齢化率は低いものの、ゆるやかに高齢化率は上昇を続けています。一方で、年少人口割合は 14.4%となっています。

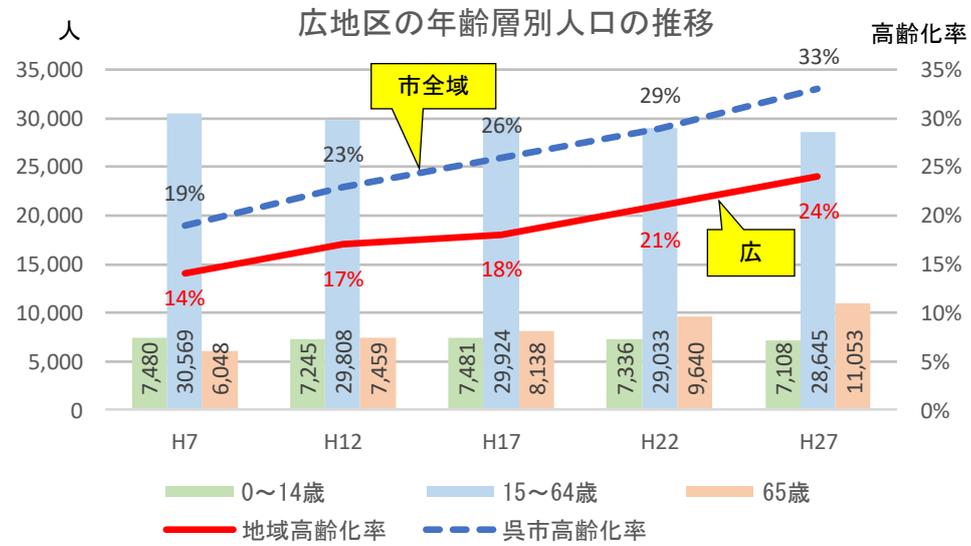
●年齢 3 区分別人口（平成 31 年）

人口			
合計	0-14 歳 (年少人口)	15-64 歳 (生産年齢人口)	65 歳以上 (高齢者人口)
46,695 人	6,744 人	28,306 人	11,645 人
100.0%	14.4%	60.6%	24.9%

（平成 31 年 3 月 31 日現在，住民基本台帳）



(平成7～22年国勢調査, 平成27年住民基本台帳)



(平成7～22年国勢調査, 平成27年住民基本台帳)

Ⅲ 計画の基本的方向

1. 計画の目的

本計画は、地域の共有する夢（地域の将来像、地域課題の克服等）の実現を目指して策定したもので、住民自治計画としての性格を持ちます。

本計画では、地域の課題を「地域で行うもの」「協働（地域と行政で協力）で行うもの」「行政で行うもの」に分け、解決に向けた役割分担を明確にした上で、地域が主体的に取り組むものについて、その方向性や具体策を示す計画として策定したものです。

2. 計画の対象

本計画は、以下の方々を対象とします。

- ・ 広地区に在住している方
- ・ 広地区に通勤・通学している方

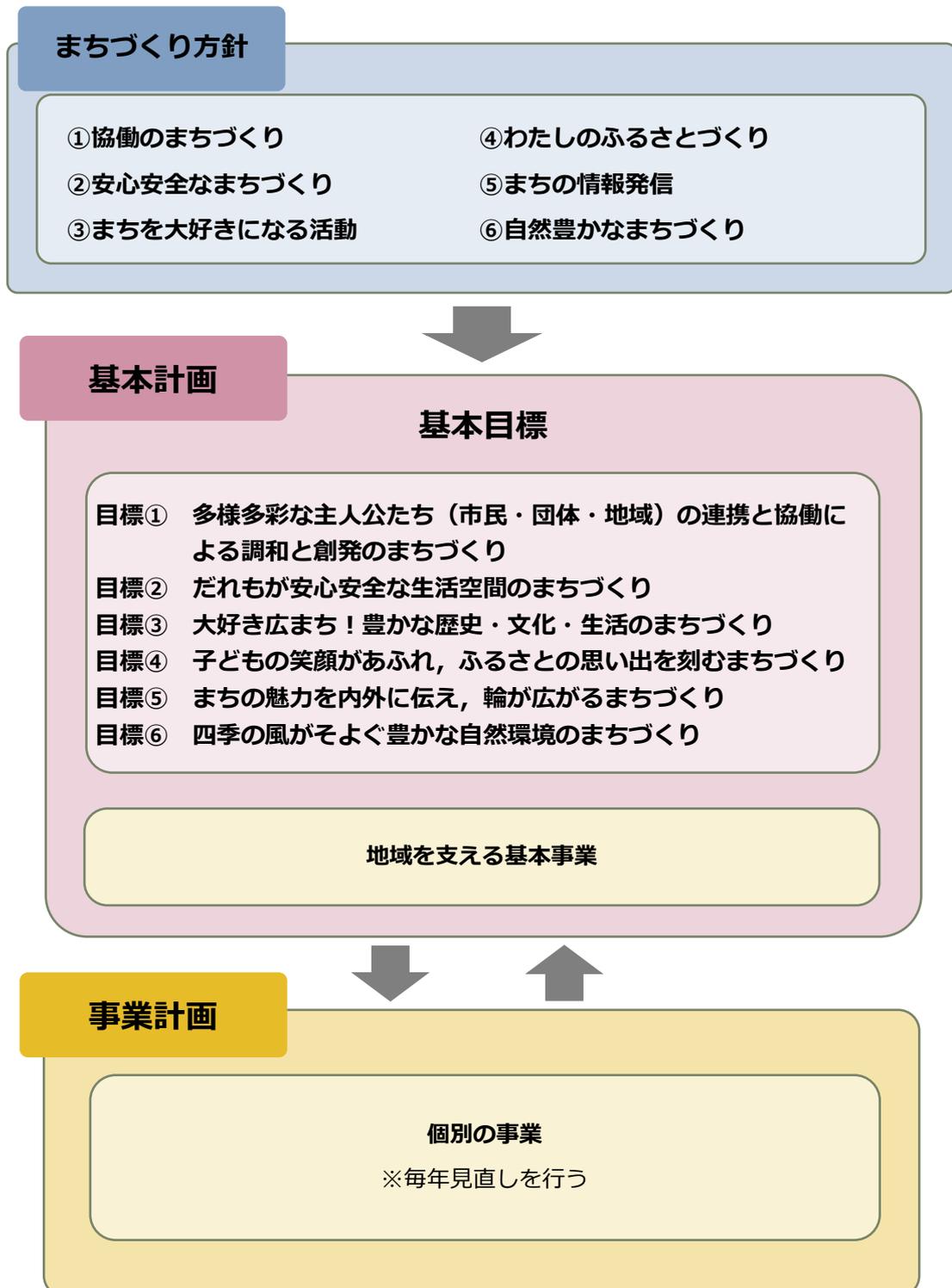
3. 計画の期間

本計画の期間は、令和2～10年度とし、令和10年度における広地区の将来像（あるべき姿）の実現を目指します。そこで、単年度ごとの事業内容については、その前年に事業計画を策定し実施することとします。

ただし、社会情勢の変化や計画の進捗状況などを踏まえて、計画期間の途中であっても、必要に応じて計画内容を見直すことがあります。

4. 計画の体系

本計画は、基本計画と毎年見直しを行う事業計画から構成されます。なお、広地区のコミュニティにおいて特に重要な役割を担う事業は「地域を支える基本事業」として、基本計画の中に位置付け推進します。



IV 基本計画（令和2年度～令和10年度）

1. 基本目標

基本目標は、広地区の将来像（あるべき姿）を実現するために、行うべき取り組み全体の目標をまとめたものです。

目標① 多様多彩な主人公たち（市民・団体・地域）の連携と協働による調和と創発のまちづくり

職・住・遊・学環境にめぐまれ発展を続けている広地区は、個性ある地域と人々がまちづくりへの参画の可能性を持っています。

私たちは、互いの理解を深め調和と創発のまちづくりを目指します。

【項目ごとの目標】

項目	概要
まちづくりの人材発掘	1 広のまちづくりに参画する人を発掘 2 職人や特色ある活動をする人々を紹介
国際交流	1 呉市国際交流センターと連携した異文化交流事業の実施 2 広に居住する外国人が日常生活に必要な情報の提供 3 姉妹都市との交流を企画
教育機関や企業との連携	1 地域の学校や企業と連携したまちづくりイベントの開催
まちづくり活動拠点整備	1 ひろまちギャラリーの運営 2 広まちづくり広場の利用拡大

【背景／地域の課題】

広地区は、沿岸の産業エリアに加えて、大学等の施設もあり、産学の連携が可能な基盤を備えている地域です。また、外国人住民や研究者なども居住しており、国際的な交流が求められています。さらに、周辺地域よりも比較的若い年代の居住が多いことが特徴であり、次代を担うまちづくりの人材を若い年代の中から発掘していくことが期待されます。一方で、ハード面の整備に関しては、広い地域のなかでまちづくりの拠点整備を進めていくことも重要となっています。

目標② だれもが安心安全な生活空間のまちづくり

地球温暖化の進行に伴う未曾有の気候災害や、地震等の天災に備えていくことの重要性が増す中、高齢化社会の到来も想定し、だれもが安心安全な地域をつくります。

また、道路網や公共交通にも恵まれた広まちでは、反面交通災害の懸案も絶えません。私たちはみんなにやさしい生活空間づくりを目指します。

【項目ごとの目標】

項目	概要
地域防災力の向上	1 防災講演会，防災セミナーの開催 2 外国人に対する避難所紹介等の情報提供
交通安全	1 交通安全啓発事業の実施
防犯意識の向上，犯罪抑止の取り組み	1 広警察署，自治会，地域の小・中学校等と連携した防犯活動の展開

【背景／地域の課題】

広地区は比較的自然災害の少ない地域であったものの、平成 30 年 7 月の西日本豪雨災害において甚大な被害を被ったことで、平時からの災害対策の重要性が改めて浮き彫りになりました。呉市では、地域の防災拠点となる市民センターの機能強化、避難場所となる公園等の防災機能強化を進めていくこととしており、住民が日ごろから災害に備え、いざという時に適切な対応がとれることが求められています。

さらに、地域住民のさらなる高齢化や外国人の居住などもある中で、だれもが安心安全に住むことができる地域づくりに向けた防犯意識の向上、犯罪抑止の取り組みは、特に重要な課題となっています。

目標③ 大好き広まち！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり

歴史ある地域，大切にしてきた祭・芸能・文化，日常では広商店街での交流などコミュニティを育んできた様々な取り組みをこれからも守り育てながら，歴史・文化・生活に根ざした地域づくりを進めます。合言葉は「大好き広まち！」。

【項目ごとの目標】

項目	概要
まちの再発見	1 「ひろまち design factory（若者ワークショップ）」を定期的で開催（まちづくりの情報収集・発信・提案・企画の場）
伝統文化の継承	1 『教育第一の精神』を継承し，「広地区教育祭」を開催 2 広商店街振興組合と連携した盆踊り大会の開催 3 小坪神楽
広ブランドづくり※	1 「ひろまち design factory（若者ワークショップ）」を活用した広ブランドの研究・開発

※第1期は，「特産品の開発（広ブランド）」

【背景／地域の課題】

広地区は，呉市内でも歴史ある地域として，その良さを守りながら時代の変化にあわせて若い世代に引き継いでいくことが必要となっています。また，副都心としてにぎわいのある市街地を有することから，生活者である住民の生活を維持しながら，商業と居住が適度に混在したまちなか居住を推進していくことも求められています。

目標④ 子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり

「広」は村是として「教育第一」を掲げることで、今日の発展の基礎を築いてきました。また「地域づくりはふるさとづくり」に他なりません。未来の「広」を託す子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを行います。

【項目ごとの目標】

項目	概要
世代間交流	1 広子ども祭の開催 2 広地区クリーン活動の実施
子どもが安心して遊べる場所づくり	3 子どもが提案し、大人と共に実施する地域の事業の推進

【背景／地域の課題】

広地区においても少子化、核家族化が進行する中で、子ども一人ひとりの教育に力を入れるとともに、他の世代との交流も行いながら、地域の宝として子どもを育てていくことの重要性がより一層増しています。地域で取り組んできたコミュニティ活動に子どもたちの参加を促していくとともに、子ども、大人双方にとって魅力的な活動内容を検討していく必要があります。また、地域に子どもが出て、まちの中で安心して遊ぶことのできる場所づくりも求められます。

目標⑤ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり

多くの市民の参加を促して協働でまちづくりを推進するためには、まずは地域の魅力を、情報メディアを利用して様々な層の人々へ楽しく伝える事が必要だと考えます。情報を共有し、映像・情報誌・ウェブサイト等として発信していきます。

【項目ごとの目標】

項目	概要
情報の発信	1 「ひろまち design factory（若者ワークショップ）」を活用して、若者の視点から「ひろまち」の情報を発信 2 広まちづくり新聞【ウェブ版】の内容を充実

【背景／地域の課題】

時代の変化がより一層加速し、今後はこれまで以上に IT による情報発信が社会の中で主流になっていくと考えられます。その中であって、適切な情報発信の媒体を選び、かつ様々な世代が情報に触れることのできる環境を整えることが必要です。紙面・映像・各種インターネット上のサービス等を適切に組み合わせながら、情報を発信していく体制づくりが求められます。

目標⑥ 四季の風がそよぐ豊かな自然環境のまちづくり

広地区は、二級峽を頂点に野呂山・灰ヶ峰に挟まれ瀬戸内海に広がるデルタの中で豊かな森・川・海が育てられた四季折々の景観に恵まれた地域です。

私たちは、自然環境を大切に活用したまちづくりを推進します。

【項目ごとの目標】

項目	概要
豊かな自然（資源）の活用	1 黒瀬川・小滝・二級峽等，景勝地の魅力を紹介，住民の憩いの場づくり
地域の河川や道の環境整備	1 景観保全のための清掃活動

【背景／地域の課題】

広地区は、山林資源，河川および瀬戸内海の水資源の両方を有しており，自然環境を通して四季の変化を感じられる地域です。これらの資源は，地域に住む住民にとっての誇りかつ生活を支えるかけがえのないものであると同時に，都市や海外から来た観光客にとっては魅力的に映る可能性も秘めています。これらの自然資源を守りながら適切に整備し，まちづくりの中で活用していくことが必要です。また，広地区東側の一部が指定を受ける瀬戸内海国立公園においては，呉市は自然と調和した景観の保全を進めていくこととしており，住民主体でも自然と調和したまちづくりに取り組んでいくことが求められます。

2. 地域を支える基本事業

地域を支える基本事業は、広地区のコミュニティにおいて、重要かつ中心的な役割を果たしている事業です。今後9年間にわたって、広地区のコミュニティを守り、より活性化させていくため、これまでと同様に注力していく事業として位置付けます。広まちづくり推進協議会においては、これまでに広のまちづくりとコミュニティを育ててきた基本事業のさらなる発展を目指し実施・支援します。

■ 広子ども祭（5月）

広地区伝統の春の「広子ども祭」。1500名を超える参加者で賑わいます。



■ 広地区盆踊り大会（7月）

各地区に伝わるそれぞれの盆踊りを、伝統の一つとして後世に継承すること及び「新広音頭」をより多くの方に知っていただき、郷土愛を深めることを目的として開催しています。



■ 広地区教育祭（11月）

教育第一の精神を継承し、文化行事からスポーツまで地区を挙げて行う伝統行事で、毎年教育功労者を表彰しています。



■ 広地区クリーン活動（12月）

小中学生が中心となって、地域の大人たちとともに公園、道路、河川敷などみんなで使う場所の一斉清掃を行います。



V 事業計画（令和2年度～令和10年度）

■プロジェクトシート

このプロジェクトシートは、広まちづくり推進協議会が取り組む事業について、まとめたものです。

これを基本として、令和10年度まで、随時見直しを行いながら実施していきます。

◆広子ども祭

基本目標	④子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり
事業目的	広地区の子どもたちの健全な育成を願って、地域の大人と子どもが一体となって開催する伝統行事。
事業内容	各種イベント等の運営補助 ○交通安全おみこしパレード ○広公園での「遊び広場」 ○白岳小学校グラウンドでの「消防コーナー」 ○広地区中学校吹奏楽部による演奏 ほか
事業主体	広子ども祭実行委員会
実施場所	広公園，白岳小学校
スケジュール	開催日：毎年5月上旬（ゴールデンウィーク明けの日曜日）に開催 実行委員会：2月から2回程度

◆広地区教育祭

基本目標	<p>①多様多彩な主人公たち（市民・団体・地域）の連携と協働による調和と創発のまちづくり</p> <p>③大好き広まち！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり</p> <p>④子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり</p> <p>⑤まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり</p>
事業目的	<p>「学ぶ・創る・楽しむ・夢がひろがる」をスローガンに、世代を問わず、参加する全ての人が地域に愛着と誇りを持ち、未来への可能性が大きく広がるきっかけとなるよう、文化行事からスポーツまで、地域を挙げて行う伝統行事。</p>
事業内容	<p>各種イベント等の運営（関連イベント）</p> <p>■ 11月23日（祝日）の行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育功労者表彰式 ○文化講演会 ○歴史講演会「愛ひろ心」 ○交流広場 <p>■ 11月月間行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広地区音楽祭 ○広地区秋の文化祭 ○児童・生徒 作品展示 ○広子ども会連合会 かべ新聞 ○広まちづくりセンター 講座・サークル 舞台発表・作品展示 ○広地区老人クラブ連合会 芸能大会 ○スポーツ大会 ○ウォーキング大会 ○広市民センター施設関係機関による出展 ○広地区合唱祭 ○高校生による大書揮毫 <p>ほか</p>
事業主体	<p>広まちづくり推進協議会（主管：広地区教育祭実行委員会）</p>
実施場所	<p>広市民センター、シシンヨーオークアリーナ ほか</p>
スケジュール	<p>開催日：11月中</p> <p>実行委員会：9月から2回程度</p>

◆広地区クリーン活動

基本目標	②だれもが安心安全な生活空間のまちづくり ④子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり
事業目的	小・中学校と地域が一体となって年末一斉清掃活動を実施し、まちの環境美化意識の向上を図る。世代間交流を促進することで、住民相互が協力し、助け合う気持ちを培う。
事業内容	毎年12月の第1水曜日を実施日として、各学校が計画した清掃エリアをもとに、各学校と地域団体、地域の大人たちが一緒になって清掃活動を行う。
事業主体	広地区の小・中学校、自治会 ほか
実施場所	広地区
スケジュール	開催日：12月の第一水曜日

◆広地区盆踊り大会事業

基本目標	③大好き広まち！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり ⑤まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業目的	郷土愛を深めるため、広地区に伝わる盆踊りを後世に継承していく。また、新広音頭の普及を図る。
事業内容	各地区で実施している盆踊りを披露。 参加者全員による新広音頭の総踊りを実施。
事業主体	広まちづくり推進協議会
実施場所	広商店街
スケジュール	広商店街土曜夏祭りにあわせて実施

◆ひろまち design factory

基本目標	①多様多彩な主人公たち（市民・団体・地域）の連携と協働による調和と創発のまちづくり ⑤まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業目的	若い世代がチャレンジできる、魅力ある広まちをデザインする。
事業内容	随時、ワークショップを開催し、広地区に在住・在学の若者を中心に意見を交換し、今後の広まちを創造する。
事業主体	広地区高校生・大学生・広商店街振興組合・地域住民ほか
実施場所	ひろまちギャラリー ほか
スケジュール	随時

◆広子どもまちづくり事業

基本目標	①多様多彩な主人公たち（市民・団体・地域）の連携と協働による調和と創発のまちづくり ④子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり
事業目的	子どもたちが主体となり、地域の大人と一体で取り組むまちづくり活動を支援することにより、子どもたちの郷土愛と協働意識を育み、地域の将来を担う人材の育成を図る。
事業内容	本事業は、次世代のまちづくりを担う子どもたちの育成を図るため、市の「子どもまちづくり事業」により、子どもが主体となって企画・実施するまちづくり協働活動に対する助成（市助成上限額：1事業10万円）対象事業に対し、当協議会から1事業10万円の最大20万円を上限に助成する。
事業主体	広地区小・中・高校生、自治会 ほか
実施場所	広地区
スケジュール	実施期間 原則、年度内に事業が完了すること

◆未来の広まち応援プロジェクト

基本目標	①多様多彩な主人公たち（市民・団体・地域）の連携と協働による調和と創発のまちづくり ⑤まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業目的	広まちづくり推進協議会の構成団体及び当協議会が必要と認めた団体で、3回以上、「私たちのまちづくり企画助成（現：トライアル助成）」の承認を受けて、まちづくり事業を実施してきた団体について、当協議会が認めた事業に対して支援する。
事業内容	①広子ども会連合会「スターダストキャンプ」 美しい自然の中で、自分たちの住む地球の未来を考え、将来に活かす勉強をし、ジュニアリーダーの育成に努める。 ②広体育協会「呉市体育祭」 広体育協会は、呉市体育祭において、毎年、優秀な成績を収めており、地域を挙げてスポーツへの関心が高まっている。 平成30年度の総合成績は、豪雨災害のため不戦 ③おいもを愛する会「であい・ふれあい・おもしろい事業」 おいもでつなげよう地域の輪「であい・ふれあい・おもしろい」を合い言葉に、広地区内外との交流を促進し、地域コミュニティの形成と、地域の人材育成に必要なまちづくり事業を展開する。
事業主体	広子ども会連合会、広体育協会、おいもを愛する会
スケジュール	実施期間 原則、年度内に事業が完了すること

◆まちづくり活動拠点運営事業

基本目標	①多様多彩な主人公たち（市民・団体・地域）の連携と協働による調和と創発のまちづくり ⑤まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業目的	まちづくり活動に関心のある関係者を広げる仕掛けづくりとして、広商店街の空き店舗を活用した貸しギャラリー「ひろまちギャラリー」を設置し、まちづくりの担い手となる住民を発掘するとともに、若い世代の交流の場としての活用を図る。 平成30年度より、広市民センター内、旧小坪小学校跡地にまちづくり活動拠点を整備し、広地区住民等に利用促進を図る。
事業内容	ひろまちギャラリーの管理運営 ○利用促進へ向けてのPR ○ギャラリーの貸出 ○新たな活動拠点の利用促進（広市民センター内・旧小坪小学校跡）
事業主体	広まちづくり推進協議会
スケジュール	通年

◆広まち再発見・情報発信事業

基本目標	③大好き広まち！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり ⑤まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業目的	広まちの素晴らしさをPRし、自分たちのまちを誇りに思えるよう機運を高める。
事業内容	ホームページ「広まちづくり新聞」の管理運営
事業主体	広まちづくり推進協議会
スケジュール	通年

◆災害に負けないまちづくり事業

基本目標	②だれもが安心安全な生活空間のまちづくり
事業目的	過去の災害を振り返り、教訓を生かしながら、地域の防災力の向上を図る。
事業内容	防災講演会の実施 ほか
事業主体	広まちづくり推進協議会

◆広まちづくり推進協議会設立 20 周年記念事業

基本目標	③大好き広まち！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり ⑤まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業目的	広まちづくり推進協議会の設立 20 周年を記念するため。
事業内容	広まちづくり推進協議会設立 20 周年記念事業を実施する。 (令和 2 年度から令和 4 年度で基金を積み立てる)
スケジュール	令和 5 年度

◆ロビーコンサート

基本目標	① 多様多彩な主人公たち（市民・団体・地域）の連携と協働による調和と創発のまちづくり ⑤まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業目的	音楽を通じて、住民の交流の場・憩いの場を提供する。
事業内容	主に市内で音楽活動をする人・グループを招いてコンサートを開催する。
事業主体	広まちづくり推進協議会
実施場所	広市民センター 1 階 市民ギャラリー
スケジュール	年数回

1. ひろまち design factory 経過

■第1回 ひろまち design factory (若者ワークショップ)

日付	概要	
令和元年 9月7日	場所	ひろまちギャラリー
	参加者数	15人(参加:10人, スタッフ等:5人)
	内容	<ul style="list-style-type: none">・アイスブレーキング・計画の概要と広地区の現状・変化の説明・広商店街をまちあるき, お店の方とのトークセッション・宿題シートの説明・配布
		

■ 第2回 ひろまち design factory (若者ワークショップ)

日付	概要	
令和元年 10月8日	場所	ひろまちギャラリー
	参加者数	17人 (参加: 13人, スタッフ等: 4人)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動のヒントおよび前回の振り返り ・ グループ内で、広にあるスキルとアイデアの共有・カテゴリー分け ・ 共有したアイデアの中から「これ面白い」「やってみよう」と思うものをセレクト ・ 全体発表 ・ 宿題シートの説明・配布
		

■ 第3回 ひろまち design factory (若者ワークショップ)

日付	概要	
令和元年 12月18日	場所	広島国際大学3号館2階
	参加者数	13人 (参加: 8人, スタッフ等: 5人)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の振り返り ・ グループごとにプロジェクトシートの作成 ・ 全体発表プレゼンテーションおよびコーディネーターコメント
		

■第4回 ひろまち design factory (若者ワークショップ)

日付	概要	
令和2年	場所	ひろまちギャラリー
1月22日	参加者数	12人(参加:7人, スタッフ等:5人)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返り ・情報誌制作にあたっての企画会議(掲載したい項目など) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

ひろまち design factory で出たアイデア

広まるごと学園祭

学生と大人と一緒に本気で楽しめるような、広地区全体での学園祭を開催する。

■実施内容

広の物を集めた模擬店、グルメフェスティバル、キッチンカー、大食い選手権、ビンゴ大会、学生服コスプレ、フェス、脱出ゲーム・迷路

体育祭

学生と大人と一緒に本気で楽しめるような、広地区全体での体育祭を開催する。

■実施内容

障害物競走、リレー、新しい種目（誰もが参加できる種目）

広商店街空き店舗紹介ホームページ

主に広地区の中学生・高校生に向けて、勉強やイベントスペース、飲食といった目的のために使えるスペースを、広商店街と協働しながら確保する。

■実施内容

広商店街に存在する空き店舗の場所や状況を調べながら、用途に応じて広報できるようなホームページを制作する。

HIRO's FREE PAPER/広's フリーペーパー

広地区に通学している高校生・大学生に向けて、広地区のことをもっと知ってもらい、より積極的に関わってもらえるきっかけを提供する。

■実施内容

広地区について特集するフリーペーパーを制作するとともに、ポスターで広報を行う。

2. ひろまち design factory 名簿

(令和元年9月7日現在)

	所属団体	氏名
1	広高等学校 2年生	豊崎 花
2	広高等学校 2年生	西川 友梨
3	呉商業高等学校 2年生	角野 百栄
4	呉商業高等学校 2年生	山本 寛大
5	呉港高等学校 2年生	林 奈都美
6	呉港高等学校 2年生	宮本灯加理
7	広島国際大学 4年生	伊藤 裕介
8	広島国際大学 2年生	中冢 剣
9	広商店街振興組合 理事長	柚原 弘明
10	広商店街振興組合 理事	山本 和男
11	広地区在住大学生 (安田女子大 4年生)	岡原 早希
12	広地区在住社会人	河井ゆうき
13	Restaurant『ieRo』代表・SAKKA ZAKKA バイヤー	古海 敏行
14	IT'S ITO'S PILATES 代表	伊藤 喜昌
15	ブティックふくま	福間 元一

	株式会社 FRASCO (コーディネーター)	尾崎 香苗
	株式会社 FRASCO (コーディネーター)	中部 直哉
	広島国際大学 学生課長	藤友 邦治
	広まちづくり推進協議会 事務局	手島 直樹
	広まちづくり推進協議会 事務局	花浦 錦司
	広まちづくり推進協議会 事務局	清原 秀樹

(順不同, 敬称略)

3. 広まちづくり推進協議会規約

(目的)

第1条 本会は、広地区の豊かな自然と、人と人との繋がりを大切にし、地区住民の主導のもと、いきいきと安心して暮らせる、活力あるまちづくりを推進していくことを目的とする。

(名称及び事務所)

第2条 本会は、広まちづくり推進協議会（以下「本協議会」という。）と称し、事務所を呉市広市民センター（広島県呉市広古新開2丁目1番3号）内に置く。

(構成員)

第3条 本協議会は、別紙に掲げる団体等（以下「団体等」という。）により構成する。

(事業)

第4条 本協議会は、第1条の目的を達成するため、広まちづくり計画に基づき次の事業を行う。

- (1) まちづくりに関する調査及び事業の企画立案及び実施
- (2) その他、目的達成に必要な事業

(役員)

第5条 本協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 会計 1名
- (4) 監査 2名
- (5) 理事 必要とする人数

2 役員は、第3条に定める団体等の代表者をもって充てる。

(職務)

第6条 役員職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐する。また、会長に事故あるときはその職務を代理する。
- (3) 会計は、経理を処理する。
- (4) 監査は、会計を監査する。
- (5) 理事は、会議において本協議会の運営に必要な事項を審議する。

(任期)

第7条 役員任期は団体等の代表者の在任期間とする。

(会議)

第8条 会議は、会長が招集し、議長となる。

2 会議は、毎年1回以上開催し、次の事項について審議し、決定する。

(1) 規約の制定及び改廃に関すること。

(2) 予算及び決算に関すること。

(3) 事業計画に関すること。

(4) その他、会長が必要と認めること。

3 会議の議事は出席者の過半数により決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(事業の実施)

第9条 本協議会が行う事業の実施については、必要に応じて実行委員会を置き、これを行うことができる。

2 実行委員会の構成については、その都度これを定める。

3 前2項に定める実行委員会のほか、本協議会が必要と認める団体を協力団体とし、第4条に定める事業を協力して行うことができるものとする。

(経費)

第10条 本協議会の経費は、助成金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第11条 本協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。

(特記事項)

第12条 この規約に定めるもののほか、この規約の施行に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成16年9月30日から実施する。

附 則

この規約は、平成21年6月19日から実施する。

附 則

この規約は、平成29年4月1日から実施する。

別紙（第3条，第5条第2項関係）

役員	団体等名称	団体等を代表する者
会長	広地区自治会連合会	会長（地区まちづくり委員会会長）
副会長	広地区自治会連合会	副会長（地区まちづくり委員会会長）
副会長	広地区自治会連合会	副会長（地区まちづくり委員会会長）
副会長	広地区女性連合会	会長（地区まちづくり委員会副会長）
会計	広地区老人クラブ連合会	会長
監査	広子ども会連合会	会長
監査	広地区民生委員・児童委員協議会	会長（3地区いずれかの会長1名）
理事	広地区女性連合会	副会長（地区まちづくり委員会副会長）
理事	第14区民生委員・児童委員協議会	会長
理事	第15区民生委員・児童委員協議会	会長
理事	第16区民生委員・児童委員協議会	会長
理事	呉市交通安全推進委員広地区連合会	会長
理事	呉市青少年補導員広地区連合会	会長
理事	広地区人権教育・啓発推進協議会	会長
理事	広体育協会	会長
理事	広文化団体連合会	会長
理事	広商店街振興組合	理事長
理事	広地区内各小学校	校長
理事	広地区内各中学校	校長
理事	広地区内各高等学校	校長
理事	広島国際大学	学長
理事	広警察署	署長
理事	東消防署	署長
理事	広市民センター	センター長

広まちづくり計画（第2期）

令和2年3月

発行：広まちづくり推進協議会

〒737-0112 呉市広古新開2丁目1番3号

呉市広市民センター1F 広支所内

電話：0823(73)7191 FAX：0823(71)5573

